

小惑星イトカワのクレーター候補地形サーベイ

Surface morphology of the asteroid Itokawa: survey for impact structure

平田 成 [1]; 本田 親寿 [2]; 中村 良介 [3]; 宮本 英昭 [4]; 佐々木 晶 [5]; 出村 裕英 [6]; 中村 昭子 [7]; 道上 達広 [8]; 齋藤 潤 [9]

Naru Hirata[1]; Chikatoshi Honda[2]; Ryosuke Nakamura[3]; Hideaki Miyamoto[4]; Sho Sasaki[5]; Hirohide Demura[6]; Akiko Nakamura[7]; Tatsuhiko Michikami[8]; Jun Saito[9]

[1] 会津大; [2] 宇宙研; [3] 産総研; [4] 東大・総合研究博物館; [5] 国立天文台・水沢; [6] 会津大学; [7] 神戸大・自然; [8] 福島高専; [9] 東海大・工

[1] Univ. of Aizu; [2] ISAS; [3] AIST; [4] The University Museum, Univ. Tokyo; [5] Mizusawa Obs., Nat'l Astron. Obs. Japan; [6] Univ. of Aizu; [7] Grad. Sch. of Sci. and Tech., Kobe Univ.; [8] Fukushima National College of Technology; [9] Tokai Univ.

小惑星探査機はやぶさの取得データをもとに、小惑星イトカワ上に存在する衝突クレーターの探索を行った。イトカワ上にはお椀形の古典的なクレーターはほとんど存在しない。このため、画像および形状データから、円形の凹地形をクレーター候補地形としてピックアップした。また、円形の平坦な表面を持つ地形も、凹地形に細粒の物質が堆積したものと考え、クレーター候補としてカウントしている。同時に、これら地形の特徴についても記載を行った。